

★ は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力
【】 は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）
○ は、幼児教育と小学校教育の学びのつながり

高見の森保育園 1月の実践

ねらい：友達の中で自分の力を発揮して遊び、充実感を味わう。

活動：ルールを守りながら、友達と一緒にドッジボールを楽しむ。

ドッジボールする人この指とまれ！



おっと、危ない。

ボールをよく見て逃げて。

「避けて」「次来るよ」「前にいるよ、早く投げて」など投げる、捕る、走る、身をかわすなどの動きを駆使して遊んでいた。

友達同士でルールを確認し、「今、当たった」「当たった人は外に出て」「当たった人は中に入るよ」「線を踏まないよ」など声を掛け合い、遊びを進めていた。

★知識及び技能の基礎

【健康な心と体】

○ こうした体験の積み重ねは、小学校生活において、ルールを守って行動しようとしていたり、気持ちや行動を自律的に調整したりしていこうとする姿などにつながっていく。

作戦開始。次は、絶対勝つよ！

チームで競い合った結果、黄色チームの負けが続いたので作戦会議をもち、次の試合に臨むことになった。

「ボールをよく見て！」「足をねらうといいよ」「捕ったらすぐ投げて」「上から投げて」「低く投げるのもいいかも」など気付きや考えを相手に分るように言葉にして出し合い、勝つための作戦を立てていた。

★思考力、判断力、表現力等の基礎

【言葉による伝え合い】

○ こうした経験の積み重ねは、互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動する姿や、自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする姿などにつながっていく。



線の周りを走り回りながら、投げてみたら。

逃げるだけでなく、ボールを捕って、投げるよ。

3回戦開始。ああ楽しかった、またしようね。



大丈夫かな。

捕って、捕って。

「ボールが来るよ、誰か捕って」「上手」「いいね」「すぐ投げて」「次はBちゃん投げるよ」「惜しかったね」「大丈夫！」「OK」などお互いに声を掛け合い、意欲的に競い合いを楽しんでいた。

終了後「Bちゃん上から投げるのが上手」「Aちゃん、捕るの上手だね」「Cちゃん最後までよく逃げたね」「次は絶対勝つよ」などお互いの頑張りを認め、満足感を味わっていた。

★学びに向かう力、人間性等

【協同性】